

📖 今月のおすすめ本 📖

『フィンランドの高校生が学んでいる人生を変える教養』【372.3892/イ】

岩竹 美加子(2024)青春出版社

世界幸福度ランキングが数年連続で1位の国フィンランドでは、小学校から高校まで選択することができる授業に「人生観の知識」という科目があるのを知っていますか？「宗教」という科目もありますが、「宗教」に代わる選択科目としてこの科目があります。

本書では、この「人生観の知識」で生徒達が自分の見方を重視し、アイデンティティや人生の選択、批判的思考、市民と社会、人権などについて、様々な国の思想や哲学などを手掛かりに、いかにそこから考えや意見を出し合い学んでいるか詳らかにされています。また、驚かされるのは、フィンランドの学校には、学力テストや偏差値がないということです。この教育が目指すところは「学習を通じて獲得した知識」より「いかに学ぶかを学ぶこと」であるといえます。

道徳や公民で「きまり」を教える日本と、「本質」を教えると言われるフィンランド、この違いは学校の無償化や子供の権利を保証し、ウエルビーイングの考えが浸透しているからといえればそれまでですが、本書から様々な考えを学ぶことはできるはずです。心豊かに幸せをかみしめた生活を送るため、本書をヒントにしてみませんか。

📖 フィンランドの本、いろいろ

『フィンランドの幸せメソッドSISU』【498.39/ハ】カトヤ・パンツァル(2018)青土社

『考えごとしたい旅フィンランドとシナモンロール』【293.892/マ】 益田 ミリ(2020)幻冬舎

『ひとり暮らし、ひとりを支える フィンランド高齢者ケアのエスノグラフィー』

【369.26/タ】高橋 絵里香(2019)青土社

『女の子が死にたくなる前に見ておくべきサバイバルのためのガールズ洋画100選』

【778.2/キ】 北村 紗衣(2024)書肆侃侃房

本書は、若い頃生き辛さを抱えていた作者が、「18歳になる前にこういう映画を見て大人になれたらよかったな」と感じる、女の子が生き抜くのを助けてくれる映画をチョイスした本です。内容を、労働やファッション、クィア、階級など22のテーマに分けて、100本の外国映画を紹介しています。

テーマがスポーツである『少女は自転車にのって』では、女性が自転車に乗れない時代だった頃、どうしても乗りたい少女ワジダが自転車を手に入れようと奮闘する様子が生き生きとして楽しいですが、実はお母さんの自立についてもその成長が描かれています。

この本は、どこから見始めても大丈夫。面白そうと思ったところから始められます。手に取ってみたい映画があったら、リーブラのDVDコーナーもぜひご覧ください。

📺 この本に出てくるリーブラ所蔵DVD。他にも多数あります。

貸出可『少女は自転車にのって WADJDA』【DVD/302/3】ハイファ・アル・マンスール／監督・脚本(2014)

貸出可『ハンナ・アーレント HANNAH ARENDT』【DVD/289.1/1】

マルガレーテ・フォン・トロッタ／監督・脚本(2014)

館内視聴『マダム・イン・ニューヨーク English Vinglish 』【DVD/334.4/7】

ガウリ・シンデー／監督・脚本(2015)